日本習字
たのしい習字
6月号

［発行］
公益財団法人
日本習字教育財団

【今月号の内容】
1面：第29回手本表紙絵コンクール／第26回日本習字展について／生徒部八段位昇段試験のお知らせ　2面：生徒部八段位昇段試験答案作文「わたしと習字」／インタビュー「教えて！センパイ！」／日本習字まめ知識　3面：みんなの広場／マンガ『赤丸筆太郎』／筆太郎のパズル＆クイズ　4面：お友だちの作品を見よう（作品紹介）

■本紙では、投稿や取材等で取得した個人情報を、本紙掲載目的でのみ使用します。たのしい習字では個人情報が外部へ不正流出することのないよう、管理、保管に努めてまいります。
■本紙に掲載の住所は市町村合併等により名称変更となっている場合があります。
■本紙に掲載の記事や写真等の無断転載は禁じます。

第29回 お手本表紙絵コンクール

みんなの絵がお手本の表紙にけいさいされる「お手本表紙絵コンクール」のお知らせです。自由なテーマで楽しく、元気いっぱいの絵を送ってくださいね。たくさんのご応ぼお待ちしています。

～ぼ集要こう～

【応ぼ資格】幼児から小学6年生までの日本習字会員
【応ぼ点数】1人1点のみ
【かくときの注意】
◆テーマ…自由。令和3年5月10日以降にかいたもの。ただしアニメ、ゲーム、マンガ、コミックなどのキャラクターはのぞきます。
◆種類…クレヨンや絵の具でかいたもの、すみ絵、はり絵、なんでもけっこうです。
※金銀・ラメ・蛍光色は、実際の印刷では色合いが変わることがあります。
◆用紙…文ぼう具店などで売っている画用紙（27×38センチ、または38×54センチ）を必ず横にして使います。折り目がつかないように、気をつけて送ってください。
※作品のうらに学年（幼児は年れい）、氏名（ふりがなを忘れずに！）、住所（連絡先）を必ず書いてください。
【賞・記念品】※記念品は変こうになる場合があります。
▼最優しゅう賞…記念たて、透明水彩絵の具18色セット（各学年1名）
▼優しゅう賞…記念たて、筆タッチサインペン6色セット（各学年2名）
▼佳作…水性ツインカラーマーカー3色セット（各学年5名）
※以上11月中ごろに発送予定
【ぼ集期間】
令和3年6月1日～7月30日（必着）
【応ぼ先】
〒606－8334
京都市左京区岡崎南御所町35－15
日本習字
「お手本表紙絵コンクール」係
※注意！
「みんなの広場」の応ぼ先とはちがいます。
【しん査・発表】
◆日本習字編集課でしん査を行い賞を決めます。最優しゅう賞作品は各学年の、令和3年12月号手本の表紙絵としてけいさいし、本紙12月号で最優しゅう賞と優しゅう賞の受賞者を発表します。佳作受賞者は賞品の発送をもって代えさせていただきます。
※いただいた個人情報は本コンクールに関してのみ使用します。応ぼ作品はお返しいたしません。作品に関する一切の権利は、日本習字のものとさせていただきます。以上ごりょう承ください。

お手本表紙絵コンクール　休止のお知らせ

お手本表紙絵コンクールは平成5年度以来、みなさまに参加していただく場としてぼ集を続けてきましたが、手本内容の見直しを検討する中で、令和3年度12月号けいさいをもって休止することとなりましたので、お知らせします。

第26回 公ぼ 日本習字展

作品ぼ集

【ぼ集期間】令和3年8月1日～9月16日
【出品料】1点につき500円［税込］
（幼児～中学生）
【展示】会場での作品展示はありません
（優しゅう作品の発表はWeb上で行います）

公ぼ日本習字展は、幼児から大人までどなたでも応ぼできる作品展です。これまでは地区展覧会で優しゅう作品の展示発表を行ってきましたが、今回はWeb（インターネット）上での作品発表となり、いつでもどこでもどなたでも作品をかん賞することができます。ふだんの練習の成果を発揮できるよい機会です。たくさんのお友だちの応ぼをお待ちしています。ぼ集要こうなど、くわしいことは本紙7、8月号でお知らせします。

［画像は第25回展の観峰大賞受賞作品］

日本習字生徒部
『八段位受験ガイド』
ガイドでは、試験の内容や習字の基本知識などをわかりやすく解説。最新の試験問題と解答がけいさいされ、受験の準備におすすめです。

5005　価格880円（税込）
（支部会員は支部長先生に，個人会員は担当センターまで）

令和3年7月度実し 生徒部八段位昇段試験のお知らせ

◆受験資格…日本習字生徒会員　準八段（手本受講中の方）
◆受験方法…自宅または教室で受験（支部会員は、支部長先生に確認してください。）
◆試験内容…（1）実技試験、（2）理論試験、（3）作文（題は『わたしと習字』）。
※（1）受験申込書での実技試験課題の事前発表はしません。試験課題は受験を申し込んだ方に送付します。用紙は各自で準備してください。
※（2）、（3）はすでに毛筆か硬筆どちらか合格済みの場合はめん除されます。
◆提出期間…令和3年7月1日（木）～20日（火）。専用の封筒に入れて提出します。支部会員は先生にわたしてください。
◆受験料（税込）…毛筆・硬筆どちらか一方＝3，000円。毛筆・硬筆両方＝6，000円。支部長先生（個人会員→担当センター）にお支払いください。
◆申し込み・しめ切り…支部長先生（個人会員→担当センターの生徒部八段位昇段試験係）へ、令和3年6月12日（土）まで。受験申込書は4月号作品の返送時に送付済みです。
※以上、くわしくは支部長先生、または担当センターまでお願いします。
※この試験での合格者は本紙に氏名が発表されます。また、優しゅう答案作品と作文が本紙にけいさいされる場合があります。あらかじめごりょう承ください。
※本紙の配付が申し込みのしめ切りを過ぎていた場合はごりょう承ください。

わたしと習字

生涯部八段位昇段試験（R2年11月）答案作文より
（点ぼてはありません。学年は受験時のものです）

市川 麻智子 小6年（愛知県）

私が習字を始めたのは、小学校一年生のときです。一年生のときに、習字で上手に書けた字がありました。習字の先生にもほめられました。今でもその字は家にかざってあります。太くてどっしりとした字を見ると元気が出てきます。私が思う習字のいいところは、元気が出てくるところです。私は太くて力強い字を目指して習字を書いています。

習字をやっていると上手に書けないと思うことが何度もありました。学校の行事に年に一度「競書大会」という字を書いて競う大会があります。金賞、銀賞、銅賞があり、金賞のうち、一人は学年代表となります。一、二、三年生のときは銀賞で、あと少しだったのにという気持ちがありました。毎年くやしい思いをしていた中で、なんと四年生で念願の金賞と学年代表になりました。私が習字で一番苦手だった右はらいがあったので、成功してよかったなと改めて思いました。習字は上手に書けることが一番楽しいです。五年生では銀賞でした。小学校生活最後の年、今年は金賞をとりたいという気持ちでいっぱいでした。きん張しすぎて、字ががたがたになってしまいました。結果は銅賞。とても残念でした。

そんなある日、習字の先生から「準八段にあがったよ」と言われ、二つの気持ちがありました。ひとつは、とてもうれしいということ。もうひとつは、私が八段に合格できるのかという不安でした。でも今私にできることはたくさん練習することです。ひとつひとつかべを乗りこえていくことが、今後の課題です。

私にとって習字は特技なので、自信をもって楽しく、半紙に力強く、書き続けていきたいと思います。

浅沼 和佳奈 中1年（岩手県）

私が日本習字と出会ったのは、小学二年生のころ。八段をもつ母にすすめられたのがきっかけで、私は習字教室に通い始めた。初めて書いた七夕課題は「水しぶき」という字だった。目の前に広げた大きな紙に、わたしは心を弾ませた。しかし、その気持ちとは裏腹に、私の書く字は嫌になるくらい不格好で、思い通りに書けない自分に心底うんざりした。特に「水」という字のバランスに苦戦した。そんな私に先生は「白と黒の美だから、白い部分も見て……」と、ていねいに教えてくださった。あの時先生がおっしゃった白と黒の美という言葉を、なぜか今でも鮮明に覚えている。

私は中学生になって、習字が心の薬と言えるほど習字が楽しいと思うようになった。勉強や部活で大変な時でも、習字をしているときだけは、自分の世界に入れるからだ。筆が紙の上をすべる、雑音が消えて透きとおる世界が、私はたまらなく好きになった。

今年の七夕課題は「青い水平線」という字を書いた。一番初めに書いたセタでの「水しぶき」は悔しくも銀賞だった。しかし今回はあのころに苦戦した「水」という字で、親峰賞をとることができたのだ。「上手になったね」と母に言われたときは、自分の成長が認められたような気がしてもらえると、自信が持てることが習字の好きなところです。また高校から臨書に取り組んだことで、楷書や行書だけでなく様々な字体が書けるようになり、書の世界が広がったことでさらに楽しく思うようになりました。

昨年度は「書の甲子園」である「国際高校生選抜書展」において、最高位である文部科学大臣賞を受賞しました。新型コロナ感染症の影響で思うように部活動ができず、休校中は家でも作品制作に取り組みました。高校2年生の春から約半年と長い期間をかけて仕上げたので、作品が完成したときは達成感でいっぱいでした。細字のため1枚を書き上げるのに集中力と時間が必要で、一番苦労したのは誤字があれば最初から書き直さないといけなかった点です。受賞の知らせを受けたときはどのような賞を頂いたのかわかっておらず、最高賞だと知ってうれしさがこみあげてきたのを今でも覚えています。今まで続けてきて本当に良かったと思え、周りの方々にも賞を報告できたのがうれしかったです。

高校を卒業するまでに様々なジャンルの書体に挑戦して、自分が書ける字の幅を増やしていきたいです。そして大人になってからも手書きで手紙を書くなど、書道に関わっていきたいと思います。

これまでに学校や部活動と習字学習の両立になやんだこともありましたが、昇段したときのうれしさが忘れられず、これまで続けてこれました。段級位が上がらないときこそ、ねばり強く書き続けることで字が上手になっていくので、書道が好きという気持ちと目標をもって頑張りましょう。

会員インタビュー

教えて！センパイ！

日本習字で学び続けている中学・高校生のセンパイに、日ごろの取り組みについてインタビューします。今回は、兵庫県の高校3年生、細田はるなさんにお話を聞きました！

細田はるなさん（高3年）

私は小学3年生のときに習字を習い始めました。小さいころから人の字を真似て書くことが好きで、自分も文字が上手に書けるようになりたいという思いからでした。

習字は自分の思うように書けなくても、あきらめずに練習を重ねて、自分の納得のいく作品が仕上がると、とても達成感があります。昇段や資格取得によって自分の字が認めてもらえると、自信が持てることが習字の好きなところです。また高校から臨書に取り組んだことで、楷書や行書だけでなく様々な字体が書けるようになり、書の世界が広がったことでさらに楽しく思うようになりました。

昨年度は「書の甲子園」である「国際高校生選抜書展」において、最高位である文部科学大臣賞を受賞しました。新型コロナ感染症の影響で思うように部活動ができず、休校中は家でも作品制作に取り組みました。高校2年生の春から約半年と長い期間をかけて仕上げたので、作品が完成したときは達成感でいっぱいでした。細字のため1枚を書き上げるのに集中力と時間が必要で、一番苦労したのは誤字があれば最初から書き直さないといけなかった点です。受賞の知らせを受けたときはどのような賞を頂いたのかわかっておらず、最高賞だと知ってうれしさがこみあげてきたのを今でも覚えています。今まで続けてきて本当に良かったと思え、周りの方々にも賞を報告できたのがうれしかったです。

高校を卒業するまでに様々なジャンルの書体に挑戦して、自分が書ける字の幅を増やしていきたいです。そして大人になってからも手書きで手紙を書くなど、書道に関わっていきたいと思います。

これまでに学校や部活動と習字学習の両立になやんだこともありましたが、昇段したときのうれしさが忘れられず、これまで続けてこれました。段級位が上がらないときこそ、ねばり強く書き続けることで字が上手になっていくので、書道が好きという気持ちと目標をもって頑張りましょう。

▲展覧会場にて展示された受賞作品

日本習字まめ知識

臨書ってなあに？

みなさんはお稽古をするとき、日本習字や教室の先生の手本を見て練習していると思います。正しく美しい字形がとれるように、よく見てくり返し書いているのではないでしょうか。

習字を学ぶ方法のひとつに、「臨書」があります。臨書とは、古典（昔の人が書いたすぐれた文字）を見て書くことです。臨書では、古典を手本とすることで、ただ文字の形を真似して書くだけではなく、書かれた文字にどんな思いがこめられているか、文字をどのように表現しているかに注目することも大切です。特待生・高校生以上の成人会員が受講対象です。

▶臨書の際に手本となる拓本【九成宮醴泉銘】欧陽詢・楷書／唐（観峰館所蔵）

▶臨書した作品の例

※紙面の都合上、実際の原稿（作文）用紙の書き方とはちがっています。

赤丸！筆太郎

みんなの広場　いつもたくさんの投こう，ありがとうございます！

渡邊 茉由
小３（三重県）

相原 ひなた
小２（秋田県）

堀 遙夏
小１（東京都）

森川 幸恵
６さい（兵庫県）

のいず。(p.n.)
小５（愛知県）

ぴか（p.n.）
小５（熊本県）

谷口 らな
小４（奈良県）

菱田 こと美
小４（岐阜県）

ぴこ里（p.n.）
小６（北海道）

新屋 芽生
小３（沖縄県）

千勝 里咲
小６（埼玉県）

※応ぼ時のはがきに記さいされている氏名（ペンネーム），学年（年れい），都道府県名をもとにけいさいしています。

筆太郎のパズル&クイズ

答えは4個だよ。

都道府県のなぞなぞだよ！
下のわくの中から，どの都道府県が入るか
わかるかな？

島根県　石川県　兵庫県
長野県　長崎県　鹿児島県

第1問

「ごまかし」をならびかえたら
どこの都道府県になる？

第2問

苗字よりも名前を先にいう
都道府県は？

第3問

イワの中にシカがいる
都道府県は？

第4問

5ひきのヒョウがいる
都道府県は？

第5問

『4』のものまねがとくいな
都道府県は？

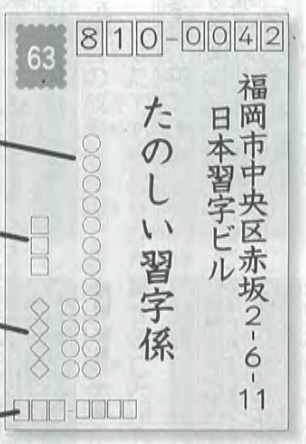
第6問

「バナナ」が「バノノ」にかわったよ
これってどこの都道府県？

投こうするときの注意点

- 投こうできるのは幼児，小・中学生の日本習字会員です。
- イラストはマンガ，アニメ，キャラクターなどではない，自分で考えた**オリジナルのもの**をお願いします。
- イラストは必ず無地白色の「通常(郵便)ハガキ」に黒でかき(カラー不可)，下がきのあとが残るので，インクジェット用ハガキはなるべく使わないでください。
- 詩・俳句・作文(オリジナルに限る)，習字教室での行事(写真と文章)などもOK。文通は不可。
- 採用，不採用はたのしい習字係で決定し，紙面でのけいさいをもって発表とします。
- 採用された方には景品を差し上げています。
- 投こうのハガキなどは返きゃくいたしません。

あて先

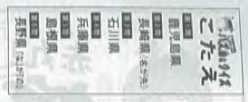


↓投こう時期と採用された場合のけいさい月号の目安

投こう	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
けいさい	↓ 4~6月号	↓ 5~7月号	↓ 6~8月号	↓ 7~9月号	↓ 8~10月号	↓ 9~11月号	↓ 10~12月号	↓ 11~1月号	↓ 12~2月号	↓ 1~3月号	↓ 2~4月号	↓ 3~5月号

作品紹介　お友だちの作品を見よう

作品は2月号の出品作品の中から選ばれています(応ぼではありません)。お友だちの作品をよく見て，参考にしましょう。



よしだ あみ
6級

おおいだ りあ
7級

山口 さやか
4級

おおつか いろは
8級

さえき のどか
1級

山本 なな子
5級

おかべ かえで
4級

高木 り子
準三段

出町 珠夕
準三段

加藤 心倖
準四段

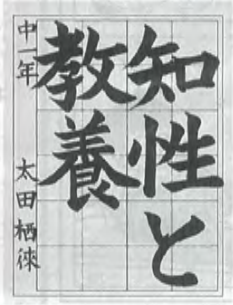
峰 しおり
三段

寺澤 こと子
四段

八木 千早
準五段

久保田 埜乃
五段

田中 真心
準七段



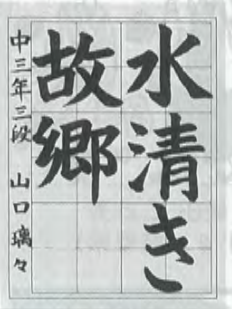
太田 栖徠
準八段

八川 菜南
六段

田中 香帆
準八段

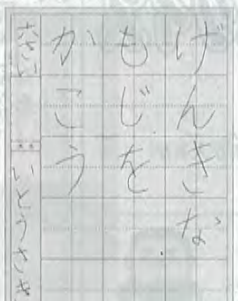
村上 早郁
七段

渡邉 日葵
準八段



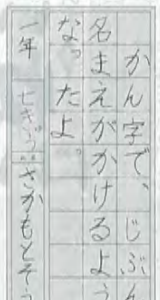
山口 璃々
三段

久我 一桃
八段



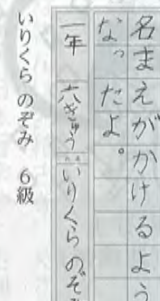
いとう さき
7級

おざき ななみ
5級



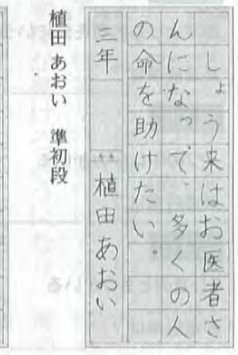
かん字で、じぶんの名まえがかけるようになったよ。
一年 六ぎょう いりくらのぞみ
いりくらのぞみ　6級

かん字で、じぶんの名まえがかけるようになったよ。
一年 七きゅう さかもとそうま
さかもとそうま　7級

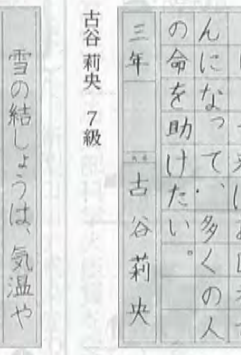


小のでらゆう　1級

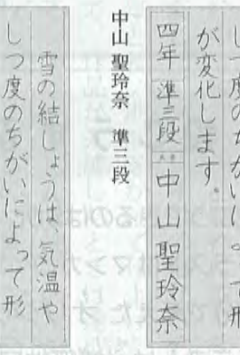
ごとうしょうた　4級



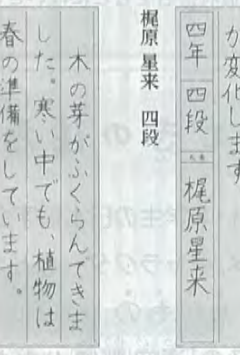
植田 あおい　準初段



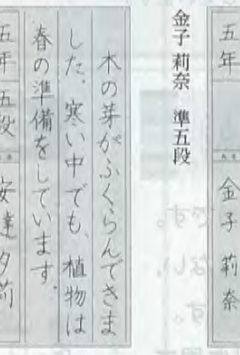
古谷 莉央　7級



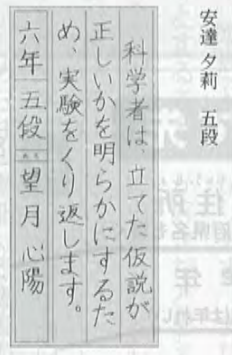
梶原 星来　四段



中山 聖玲奈　準三段

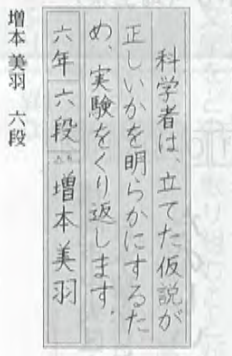


金子 莉奈　準五段

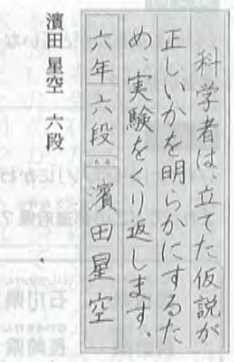


安達 夕莉　五段

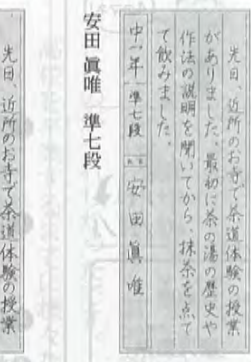
望月 心陽　五段



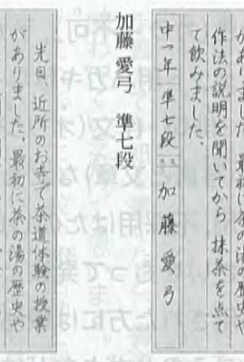
増本 美羽　六段



濱田 星空　六段

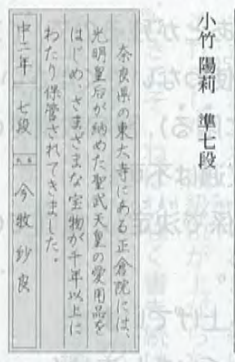


安田 眞唯　準七段

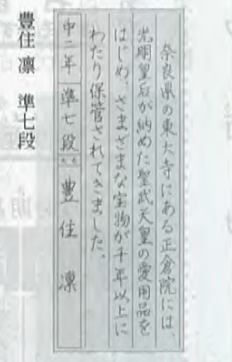


加藤 愛弓　準七段

小竹 陽莉　準七段



今牧 紗良　七段



豊住 凛　準七段

津國 悠希　六段

池田 陽菜　準八段

今回は北海道，青森，宮城，栃木，埼玉，東京，神奈川，山梨，静岡，石川，岐阜，愛知，三重，滋賀，京都，兵庫，奈良，広島，徳島，香川，愛媛，山口，福岡，佐賀，長崎，熊本，大分のお友だちの作品です。

日本習字だより

6月号

（発行）
公益財団法人日本習字教育財団

今月の内容

1面：第11回観梅展地区展報告、第26回公募日本習字展のお知らせ
2面：「手紙をかこう」参加教室の声、観峰館夏季展紹介、書友コーナー
3面：7月の講習会案内、講習会報告、指導講師を任命、中国書道史
4面：2月号出品作品紹介、コラム「すずり箱」

日本習字公式サイト　www.nihon-shuji.or.jp　日本習字　検索

第11回観梅展地区展 終了
―「原田観峰生誕一一〇年記念展」併催―

昨年8月～9月にかけて作品を募集した「第11回観梅展」地区展の後半（福岡・東京・札幌）が開催され、全日程が終了しました。

新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言が発出されるなか、各会場では検温や消毒など、感染予防対策を講じて実施しました。会場ではマスクを着けた来場者の方々が、観梅大賞をはじめ、入賞作品を静かに鑑賞しました。色とりどりに表装された作品は、それぞれ努力の成果が詰まっていて、時間をかけながら鑑賞する姿が目立ちました。ご自身や書友の作品と共に記念撮影される方も多く見られました。

各会場で併催した、「日本習字創立者　原田観峰生誕一一〇年記念展」では、手本の変遷をテーマとした展示が行われ、古い手本や原田観峰の書作品、年表などを展示しました。観峰は日本習字創立以来、ひと月も休むことなく一人で何種類もの課題を執筆してきました。若い来場者の方も、興味深い様子で鑑賞する様子が見られ、日本習字の原点と歴史を知っていただけたかと思います。

昨年春以降の新型コロナウイルス拡大の影響により、出品対策講座が一部地域で中止となるなど、観梅展出品への準備が十分にできなかった方も多かったと思いますが、多くの方が作品をお寄せくださいました。また地区展でも、感染予防対策にご協力をいただきました。誠にありがとうございました。

今年度は、「第26回公募日本習字展」の作品募集を行います。ご応募を心よりお待ちしております。

観梅大賞作品を中心に、来場者の方々は2年に1度の観梅展作品鑑賞を楽しんでいました

手本の変遷をテーマに、古い手本や年表、観峰の書作品などを展示。盛りだくさんの内容に「時間が足りません」とのご感想も

観峰が愛用した条幅筆「宗師弄玩」（そうしろうがん）も展示

検温・消毒・マスク着用、連絡先をご提出いただきました

「第26回公募日本習字展」作品募集！
地区展覧会は、Webで開催！

今年度は「第26回公募日本習字展」（愛称：日習展）を開催いたします。幼児から成人会員まで年代を問わず、一般（会員外）の方もご応募いただける作品展です。これまでは地区展覧会で優秀作品の展示発表を行ってきましたが、今回はWeb（インターネット）上での作品発表となり、いつでもどこでもどなたでも作品を鑑賞することができます。日頃の研鑽とその成果を発表する場として、奮ってご応募ください。

募集期間　令和3年8月1日～9月16日

募集作品　毛筆、硬筆・ペン、かな

詳細は、本紙次月号以降でお伝えします。

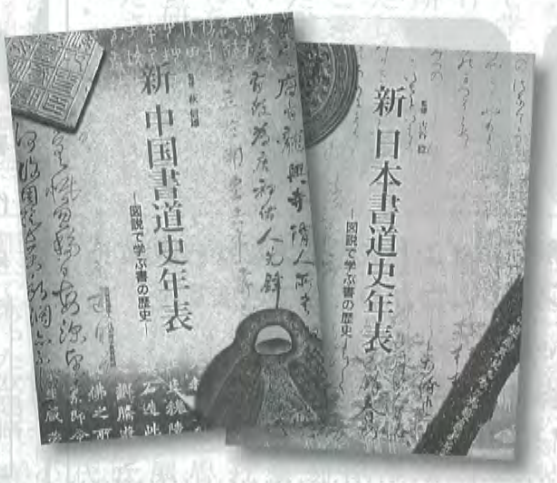
「漢字部」昇段試験

書道用語をはじめ受験に必要な書道知識を分かりやすく掲載

5100　日本習字漢字部
昇段試験受験ガイド
別冊・過去の試験問題付き
B5判・本体56ページ（別冊8ページ）
1,320円（税込）

別冊のみ購入の場合は…
5107　別冊過去の試験問題
（令和2年度実施）
B5判・8ページ
330円（税込）

受験に必要な理論知識が満載です！



受験に役立つ中国や日本の書跡などを図版付きで解説

5428　新中国書道史年表
A4判・56ページ（フルカラー）
1,650円（税込）

5274　新日本書道史年表
A4判・64ページ（フルカラー）
2,200円（税込）

◎支部会員の方は支部長先生へ、個人会員の方は担当センターへご注文ください。

7月の講習会案内

各地講習会
研修所講座

日本習字ホームページ
講習会のご案内はこちらから
ご覧いただけます！

各地講習会は、講座別「講習会のご案内」に付いている申込みハガキにて、**指導課**までお申し込みください。

各地講習会のご案内

開催地	講座名	開催日	開催会場
東京都	滝口雅弘の臨書レッスン：蘭亭序	7月8日(木)または9日(金)	日本習字東京研修所
名古屋市	かな部講座	7月24日(土)	ウインクあいち
大阪市	かな部講座	7月25日(日)	天満研修センター

※開催日、会場、講師は都合により変更になる場合がございます。※受講料はまとめ払いの対象となります。支部会員の方は、支部長先生にお支払いください。※詳しくは、作品返送に同封の講習会案内パンフレットをご覧ください。

各研修所のご案内

■東京研修所
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-11 第2星光ビル5階
☎03（5276）2682
FAX 03（5276）2689
◆支部長のための漢字部講座：火、木、金（全11回）／◆漢字部講座：月、水（全11回）／◆条幅講座：月、火、金（全11回）ほか、かな・臨書（半紙・条幅）・書写に関する講座等を開催

■福岡研修所
〒810-0042 福岡市中央区赤坂2-6-11 日本習字ビル1階
☎092（235）8470
FAX 092（235）8565
◆漢字部研究講座：火A・B、水A・B（全10回）／◆条幅教室：日・月（午前・午後）（全10回）ほか、かな・臨書・書写・技能アップ・指導力・スクーリング講座等を開催

■沖縄研修所
〒904-0014 沖縄市仲宗根町34-6 沖縄書道会館
☎098（938）3657
FAX 098（937）8995
◆漢字部講座：火A、木B、土C（月3回）／◆研究講座：水（月3回）／◆条幅講座：火（月2回）／◆かな部講座：金（月2回）

＊講習会受講の皆さまへ＊　講習会開催にあたり、感染防止対策を行っています。
①講師・受講者・職員のマスク着用　②手洗い・消毒
③密集・密接を避ける　※定員の一部を変更（制限）しています。　④定期的な換気
以上を徹底し、受講者の皆さまの安全・安心を第一に開催してまいります。

令和３年度「滝口雅弘の臨書レッスン」開催します！　6～11月開催

古典の観方・書き方・まとめ方を、臨書部手本執筆者から直接学べる貴重なレッスンです。細やかな添削、少人数でアットホームな雰囲気が大好評です！

令和３年度「かな部講座」開催します！　7～12月開催

かな部手本をわかりやすく丁寧に指導します。毎月の手本課題を中心に、用具の取り扱い方、姿勢執筆、基本線についてもお話ししますので、初心者の方も安心して学習できます。

各講習会のお問合せ
指導課☎092-235-8470

日本習字研修所（東京・福岡・沖縄）の講習会について、詳しくは「日本習字だより３月号付録」または「日本習字ホームページ講習会のご案内」をご覧ください。研修所開催講座については、各研修所にお申し込みください。

講座レポート　漢字部講座【沖縄研修所】

それぞれの課題に取り組む受講者

2月4日、沖縄研修所で漢字部講座B（渡慶次翠芳講師）が開催され、11名が受講しました。この講座では、月3回の日程で毎月の漢字部手本課題を学び、受講者は段級位に応じた課題に取り組みます。

当日は、各書体のポイントとなる筆づかいについて、講師による丁寧な解説と示範揮毫が行われました。その後、受講者は各自筆をとり、講師のアドバイスを受けながら、意欲的に学習しました。

受講者からは「一人ひとりに対して、丁寧に指導していただき、毎回講座を受講するのが楽しみです」「教室での指導にも自信がつき、さらに精進していきたい気持ちになります」といった声をいただき、講座を通してそれぞれの目的に応じた成果が得られたようでした。

研修所内は感染防止対策を万全に整え、静かな環境で安心して学んでいただけるよう取り組んでいます。沖縄研修所では、公開講座を開催いたします。県内の各教室にご案内をお送りします。また、研修所へ直接お問合せいただいても結構です。お待ちしております。

＊上記「各研修所のご案内」もご覧ください。

沖縄研修所外観

感染対策を整え、受講をお待ちしております！

令和3年度指導講師を任命

葛西理事長（左）が講師任命証を授与

令和3年度指導講師の任命式が開催されました。各研修所や各地講習会で指導にあたるための講師任命証は1年ごとの更新制で、講師は指導の傍ら常に研鑽に励んでいます。

福岡事務所で2月18日に行われた式では、葛西孝章理事長が講師一人ひとりに任命証を手渡し、激励の言葉をかけました。また、観峰館の学芸員を講師に資料研修が行われました。

令和3年度の指導顧問、指導講師名については本紙3月号付録にてご覧いただけます。

白井琇華講師の退任式

伊都の里研修所で長きにわたり講師を務められた白井琇華講師がこのほど退任することとなり、3月3日、退任式が挙行されました。

式では、長年の熱心なご指導に対する感謝を表し、当財団から感謝状と記念品が授与されました。

白井先生は同研修所の受講生をはじめ、支部長先生や会員の方に指導し、多くの方に慕われています。これからも日本習字の支部長先生としてご活躍いただきます。長い間、誠にありがとうございました。

受講者から贈られる花束を笑顔で受け取る白井琇華講師（左）

中国書道史

宋（一三〇）

安田女子大学栄誉教授 西冷印社名誉社員
萩 信雄

（承前）いよいよ『淳化閣帖』についての終章に近づいてきましたが、結語めいた言説を述べておきましょう。

『閣帖』が南唐の刻帖、それも後主・李煜によるもの、を受け継いだものであるとすれば、一つの疑問が氷解します。すなわち、『閣帖』十巻のうち、一～五巻の歴代帝王名臣法帖の中に、顔真卿の作品が刻入されていないのは、真卿の書史上に於ける重要度から考えれば、何とも不思議なことと思われます。『閣帖』が成立・展開した北宋は、特に士風が鼓吹された時代で、宋初の太宗時代よりやや後れるものの、当時の文壇の鉅公であった欧陽脩・蘇軾・黄庭堅のいずれもが、顔真卿を激賞しています。中でも軾の次のことばは特に有名です。「顔魯公の書は、雄秀独出し、古法を一変するは、杜子美（甫）の詩の如し、格力天縦し、漢魏晋宋以来の風流を奄有す。後の作者、殆ど復た手を措き難し」（『東坡題跋』巻四・書唐氏六家書後）と述べて絶讃しています。また黄庭堅も、「顔魯公の此の帖を観るに、奇偉秀抜にして、魏晋隋唐以来の風流気骨を奄有す。欧（陽詢）虞（世南）褚（遂良）薛（稷）徐（浩）沈（伝師）の輩を回視するに、皆な法度の窘する所と為る。豈に魯公の粛然として縄墨の外に出でて、卒に之と合するが如くならん哉」（『山谷題跋』巻四・題顔魯公帖）。以下次号につづく。

11月2日「習字の日」に思いを伝えよう！

「手紙をかこう」企画

令和2年度実施教室の声②

当財団は11月2日「習字の日」を知っていただく「手紙をかこう」企画として、「手紙の書きかたブック」を制作し、ご希望のあった日本習字教室にお届けしました。先月に引き続き、実施された教室の感想をご紹介します。

生徒の熱心さに驚き　手書きの良さを伝え続けたい　東京都　佐藤英子先生

◆「手紙をかこう」参加目的

教室運営をしていく中、費用を抑えつつも季節感のある楽しいお稽古を目指しています。手紙の書きかたブックは無償かつ楽しい雰囲気の教材で、この企画に乗らない手はないと思い参加しました。

◆教室における実施方法

硬筆練習の応用かつ「習字の日」周知を目的として、習字の日直前の十月最終週に使用しました。生徒には事前に、どなたに手紙を出すか決めてくるように話していましたが、硬筆ノートに下書きした文字を添削するよう私にお願いする子がいて、熱心さに驚きました。硬筆の清書のように黙々と書く男子中学生もいました。

◆受け取った方のご感想

とても好評で、「入院中の祖父が孫の文字の丁寧さに大変勇気づけられた」「転勤された小学校の先生が、元教え子の成長ぶりに喜んでくれた」などのご感想が聞かれました。受け取られた皆さん大変喜んでくださいました。そして私に出してくれた子もいました。涙が出るほど嬉しかったので、保護者の方にお話しすると、いたく感激され、お手紙の写真を撮って帰られました。それ以降、親子でクリスマスカードや年賀状など、楽しくお手紙を書かれているそうです。

生徒からのお手紙。佐藤先生の笑顔が描かれ、温かみが伝わります

◆本企画へのご感想

手書きの良さを伝える、とてもよいテーマだと思います。また、手紙の書きかたブックはあて先を限定しないため、家庭の事情に関わらず活用でき、教科書と教材の両方を兼ねているのでコンパクトで無駄がありません。

手紙は、メールなどでは伝えることのできない「温かい心のやりとり」だと思います。今後もこのような企画を活用して、手書きの楽しさ、良さ、温かみを、子供達に伝えていきたいと思います。

令和2年度、「手紙をかこう」企画にご参加くださいました皆様、誠にありがとうございました。

次号は、本企画にお寄せいただいた、さまざまなご意見やご感想を紹介する予定です。引き続きご覧ください。

書友

95歳の方の作品に感動
楽しんで筆を持ち続けたい

埼玉県　八木初代

平成12年、還暦を迎え定年退職しました。「六十の手習い」と諺にあるように、さて今日からは自分の時間にと、数種類のお稽古事を始めました。

日本習字「弥生教室」に入会させていただき、自分の子供と同じ年齢の方々の中に入れていただいてご指導願い20年、傘寿（80歳）を迎えてしまいました。

平成17年、「日本習字だより」3月号に掲載されていた出品作品（11月号課題）の中に、95歳の方が書かれた作品があるのを見て、感動しました。

榎本先生の熱心なご指導と、教室の皆さんが受け入れてくださって楽しく学べることに感謝し、新年度も筆を持つ楽しみを続けていきたいと思います。

日本習字だより
【書友コーナー】
投稿お待ちしています！

宛先　〒810-0042
福岡市中央区赤坂2-6-11 日本習字ビル
日本習字だより「書友コーナー」係

書道の楽しさや、書道を通じた交流・エピソードなどをつづったお便りを、ぜひお寄せください！

※原稿は返却致しません。ご了承ください。※採用された方には記念品進呈。

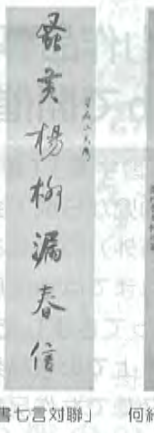
観峰館夏季企画展

「何紹基―清朝巨匠の書―」

6月19日（土）～8月29日（日）

観峰館では6月19日から、夏季企画展「何紹基（かしょうき）―清朝巨匠の書―」を開催します。清朝が衰退に向かう嘉慶・道光・咸豊・同治の四代を生きた何紹基（1799～1873）は、傑出した書家として知られています。その書は、同じく激動の時期に活躍した唐の顔真卿（がんしんけい）（709～785）に学び、さらに篆隷の要素を加味したもので、特に独特のうねりと躍動感が特徴的な行書は、今なお多くの人を惹（ひ）きつけてやまないものです。

何紹基「楷書八言対聯」


何紹基「行書七言対聯」

観峰館には、初期から全盛期、そして晩年まで約20件の何紹基作品を収蔵しており、これほどまとまったコレクションは、他に類を見ません。本展では、館蔵の作品を通じて、その魅力に迫ります。

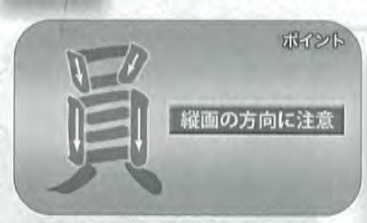
▼観峰館☎0748（48）4141（月曜休館、祝日の場合翌日）

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っております。詳しくはホームページをご覧ください。

観峰館最新情報はコチラから

ご活用ください

日本習字模範揮毫DVD



※令和3年4月号より

毎月の検定課題の書き方を解説ポイントを踏まえながら収録！
穂先の動きや運筆のリズムがしっかり理解できます！

【6月号収録内容】幼児部、小学部、中学部、漢字部（赤手本・楷書・行書・草書・隷書・六朝体・条幅）、かな部検定課題②、③

●価格1,575円（税込・送料込）●

［お申込み・お問合せ］支部会員…支部長先生　個人会員…担当センター

くらしの書「書友ギャラリー」ご案内

暑中見舞状・短冊　作品募集中

締切日　7月末日（必着）

現在「くらしの書」を受講の方々を対象に、暑中見舞状と短冊の作品を募集しております。「くらしの書」での学習を生かした、すてきな作品をお待ちしております。

詳しい応募方法は「くらしの書」の6・7月号裏表紙をご覧ください。

作品の送り先
〒606-8334
京都市左京区岡崎南御所町35-15
公益財団法人　日本習字教育財団
「くらしの書　書友ギャラリー」係

▲こちらに直接お送りください▲

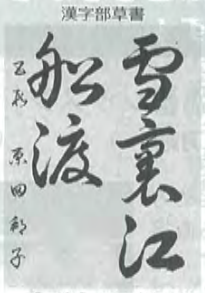
※締め切り日を過ぎると審査の対象にはなりませんので、ご注意ください。
※市販の絵や写真入りの用紙は使用しないでください。

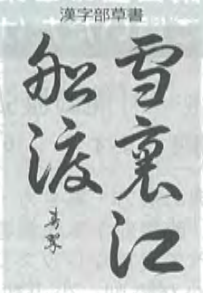
―― くらしの書書友ギャラリー休止のお知らせ ――

「くらしの書」書友ギャラリーは、平成17年度以来、皆様に参加していただく学びの場として募集を続けて参りましたが、手本内容の見直しを検討する中で、令和3年度11月号、3月号掲載をもって休止することとなりましたので、お知らせ申し上げます。

出品作品紹介－2月号より－

全国の書友の皆さんが出品された作品をご紹介いたします。
皆さんの作品をよく見て、これからの学習の参考にしてください。

漢字部草書

［五段］原田邦子

漢字部草書

［八段］江頭洋子

漢字部行書

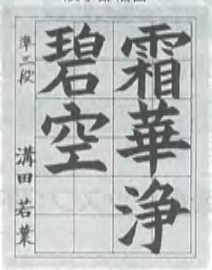
［八段］酒井愛奈

漢字部行書

［六段］太田久美子

漢字部行書

［準二段］下地千華

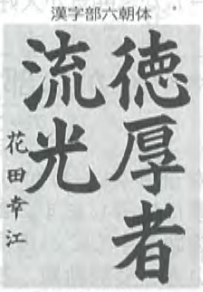
漢字部楷書

［準三段］溝田若葉

漢字部楷書

［3級］末岡行恵

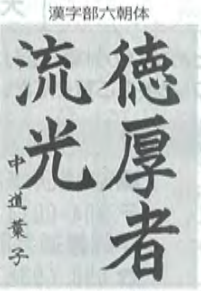
漢字部臨書

［五段］藤盛真奈

漢字部六朝体

［八段］花田幸江

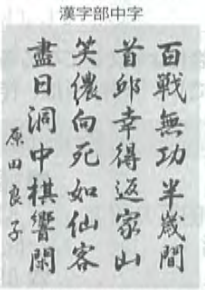
漢字部六朝体

［八段］松下義博

漢字部六朝体

［八段］中道葉子

漢字部隷書

［七段］松田雅子

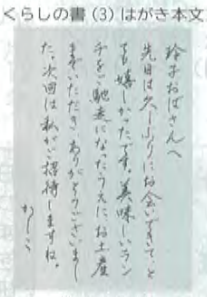
漢字部中字

［八段］原田良子

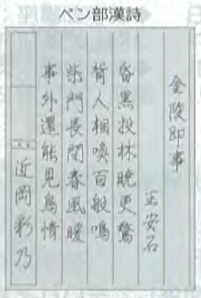
漢字部中字

［五段］野中定代

墨画部初伝「つばき」

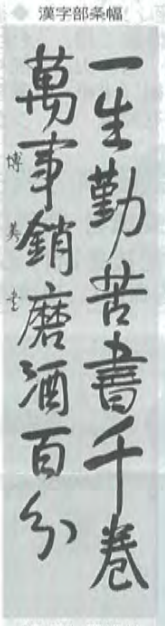
笹山真奈美

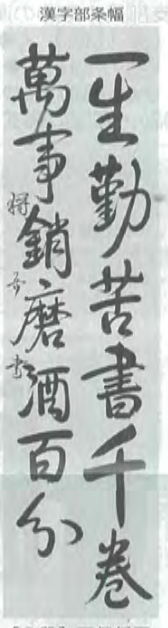
くらしの書（3）はがき本文

義平さやか

ペン部漢詩

［五段］近岡彩乃

かな部課題②

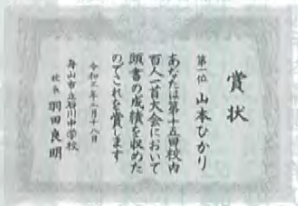
［五段］塚本よし子

漢字部条幅

［八段］岡博美

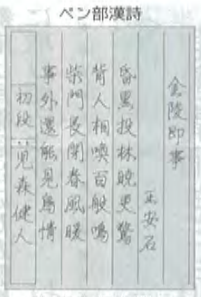
漢字部条幅

［八段］西俣将吾

墨画部奥伝「ボタン」

清水典子

くらしの書（4）賞状


藤本照子

ペン部漢詩

［初段］児森健人

かな部課題②

［五段］前村みどり

今月は宮城県、茨城県、千葉県、神奈川県、山梨県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、広島県、山口県、徳島県、福岡県、佐賀県の方々の作品を掲載しています。

すずり箱

自分の名前がどのように付けられたのか、どんな願いが込められているのか、聞いたことがあるだろうか。私は名前に「由」がつくが、両親の話では母親の名前から一字もらったのと、一本芯が通った人間になるように、との願いが込められているらしい。私は自分の名前が好きだ▽さらに、漢和辞典も引いてみた。漢和辞典を引くと漢字の成り立ちや意味を知ることができ、大変勉強になる。「由」の成り立ちや意味の中には知らなかったものもあり、自分の名前に一層、愛着がわいた▽「くらしの書」では、4月号から自分の名前と住所を毎月添削してもらうことができるようになった。おそらく一生で一番書くことが多い自分の名前を、美しく書きたいと願う人は多いだろう。私もそうである。この機会に受講し、有効活用していただけると嬉しい▽梅雨の時期は、いつも以上に家で過ごす日が多くなる。一生付き合う自分の名前について、思いを巡らせたり、上達を目指して練習したりするのもいいかもしれない。（K）

オープンキャンパス開催！

どなたでも大歓迎！
お気軽にお越しください♪

日時：6/26㊏ 13:00～16:00
会場：淡海書道文化専門学校
JR「京都」駅から「能登川」駅まで約40分
※JR「能登川」駅西口より12:15発の無料送迎バス有り

リモートによる学校説明会も
受け付けております。
詳しくはホームページを
ご覧ください！

学校説明会も各地域にて
順次開催！

仙台　7/4㊐ 11:00～13:00
PARM-CITY 131　4F 4G会議室

広島　7/11㊐ 14:30～16:30
RCC 文化センター　6F 601号室

長崎　7/18㊐ 11:00～13:00
諫早文化会館　2F 展示室④

※新型コロナウイルスの影響で中止もしくは延期の可能性があります。

淡海書道文化専門学校
Tel 0748-48-2032
〒529-1421 滋賀県東近江市五個荘竜田町136

学校案内をご希望の方は
電話またはホームページから♪

□日本習字だよりでは個人を特定する情報（以下 個人情報）を本紙掲載の目的についてのみ使用します。記事紹介、投稿などに際しては個人情報がそれぞれ必要な範囲で開示されますのでご了承ください。本紙では個人情報が外部へ不正流出することのないよう、管理・保管に努めてまいります。
□本紙に掲載の住所は市町村合併により名称変更になっている場合があります。□本紙掲載の記事・写真の無断転載は禁じます。